

「東和医療圏 7 市町村退院調整状況調査」（ルール運用 7 年目） WEB アンケート調査結果 報告書

1. 目的

「平成 27 年度 都道府県医療介護連携調整実証事業（厚生労働省モデル事業）」で策定した入退院調整ルールを、平成 28 年 1 月 20 日から運用を開始している。運用後の入退院調整における現状や、病院とケアマネジャーの連携による効果と課題を把握する。

2. 調査の概要

項目	内容
調査期間	令和 4 年 8 月 1 日～令和 4 年 9 月 2 日
調査対象地域	東和医療圏〔桜井市、宇陀市、川西町、三宅町、田原本町、曾爾村、御杖村（天理市、山添村除く）〕
調査対象事業所数	居宅介護支援事業所 : 61 か所 小規模多機能型 : 13 か所 地域包括支援センター : 10 か所 計 84 か所
調査対象者	調査対象地域にある事業所（居宅介護支援事業所、小規模多機能型、地域包括支援センター）のケアマネジャー
調査内容	調査時点で担当している利用者数と、その内令和 4 年 7 月、1 か月間に退院した利用者の退院調整状況 等
回答事業所数（回収率）	居宅介護支援事業所 : 59 か所 (96.7%) 小規模多機能型 : 12 か所 (92.3%) 地域包括支援センター : 10 か所 (100.0%) 計 81 か所
ケアマネジャー回答人数	居宅介護支援事業所 : 114 人 小規模多機能型 : 13 人 地域包括支援センター : 35 人 計 162 人

3. 調査結果

(1) 退院患者数（令和 4 年 7 月）について

利用者の居住地 介護度別	全 体	東和医療圏 7 市町村※ ¹	7 市町村かつ 6 病院※ ² から退院
要介護の退院患者	79 人	76 人	37 人
要支援の退院患者	27 人	27 人	15 人
その他※ ³ の退院患者	5 人	5 人	3 人
合 計	111 人	108 人	55 人

※¹ 7 市町村：桜井市、宇陀市、川西町、三宅町、田原本町、曾爾村、御杖村

※² 6 病院：済生会中和病院、宇陀市立病院、国保中央病院、山の辺病院、奈良県総合リハビリテーションセンター、辻村病院

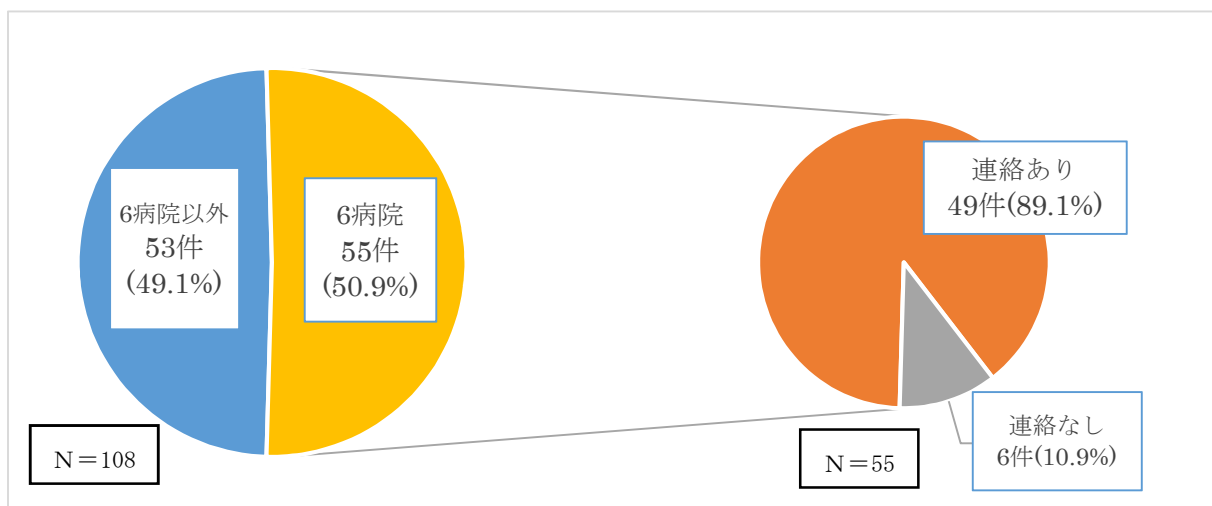
※³ その他：介護保険申請中、未認定 等

(2) 東和医療圏(7市町村)の居住者が入院していた病院及び

そのうち6病院からの退院連絡状況

(令和4年7月退院患者)

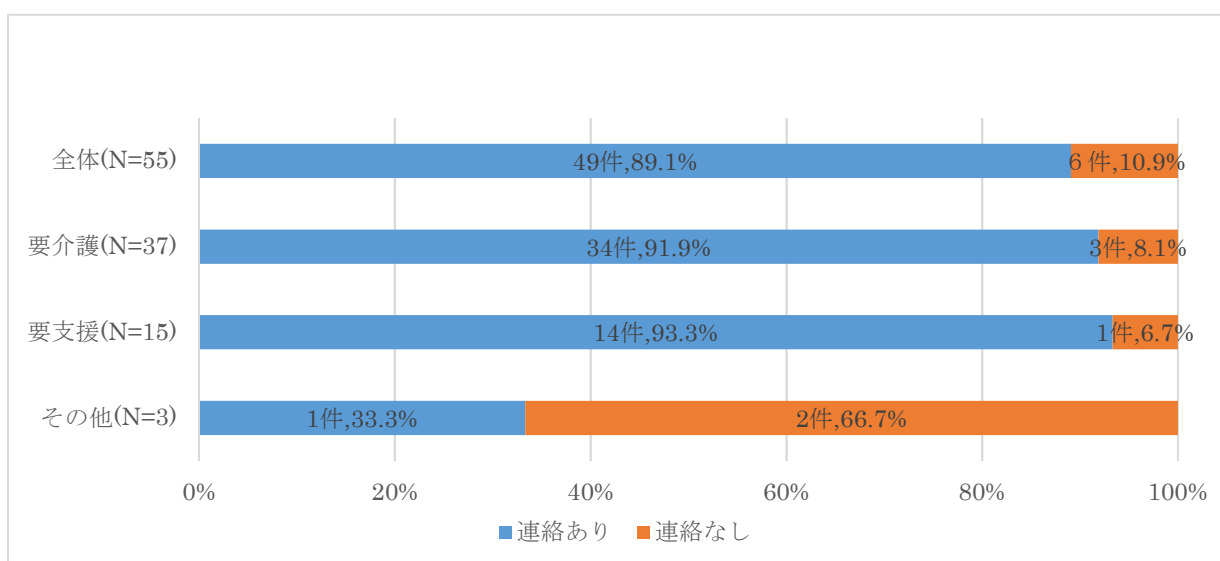
- ・東和医療圏（7市町村）の居住者が入院していた病院は、東和医療圏内の6病院が50.9%であった。
- ・東和医療圏内の6病院から退院した55件のうち、退院調整の連絡状況は、「連絡あり」が89.1%であった。



(3) 退院調整の連絡状況（介護度別比較）

※(2)で「東和医療圏内の6病院」から退院した55件についての回答。

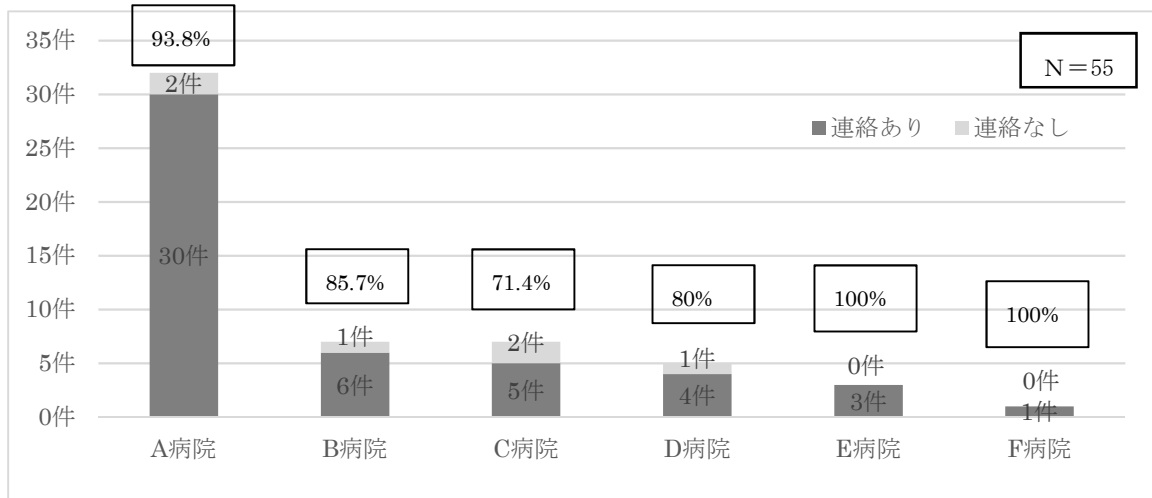
- ・要支援の連絡は93.3%で、一番多かった。



(4) 退院調整の連絡状況（病院別比較）

※(2)で「東和医療圏内の6病院」から退院した55件についての回答。

・退院調整状況では「連絡あり」は、5病院で80%を超えていた。

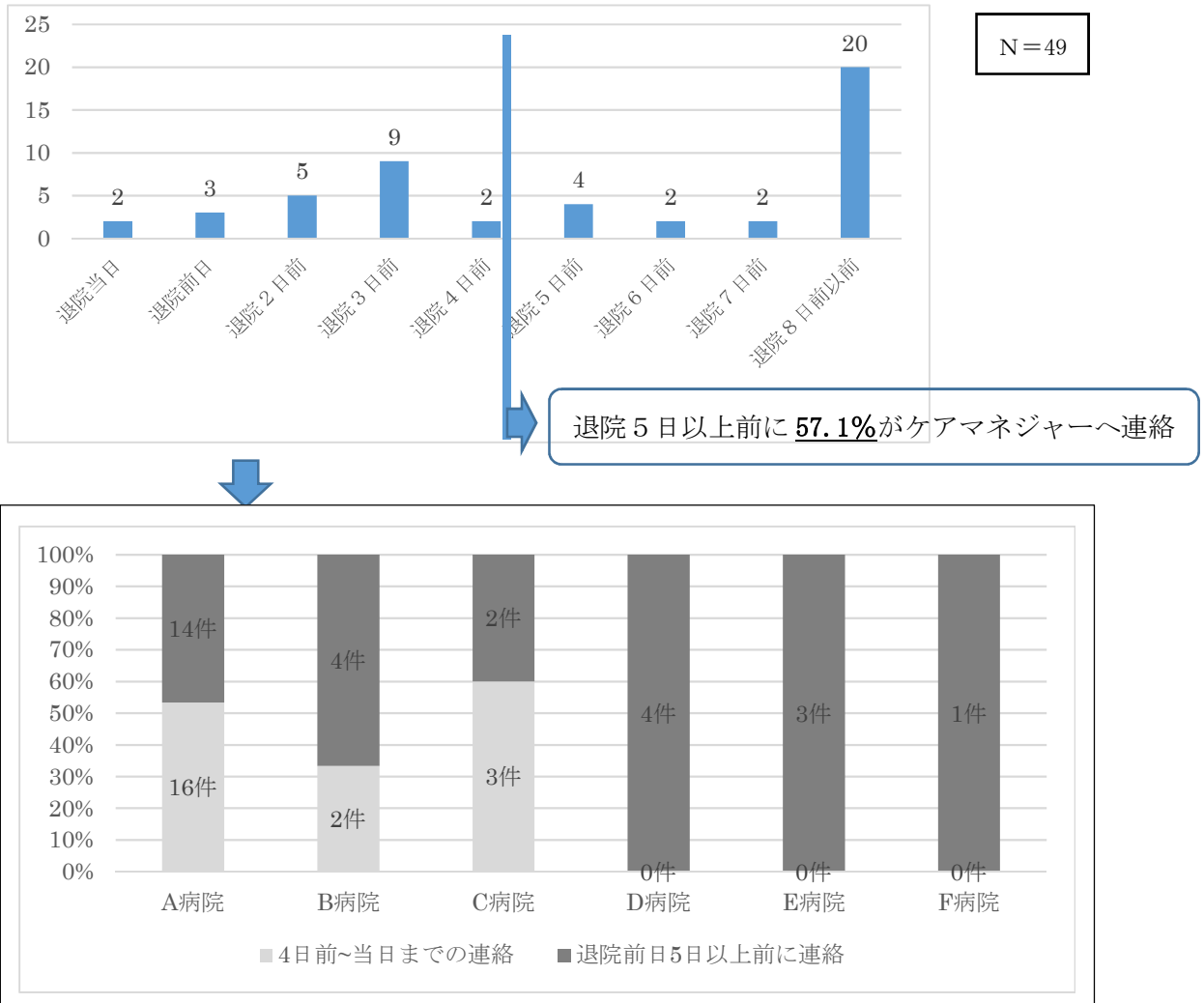


(5) 病院からケアマネジャーへの退院調整の連絡の時期

※(2)で「連絡あり」を選択した49件についての回答。

・退院調整の連絡の時期は、「退院5日以上前」までに28件が連絡している。

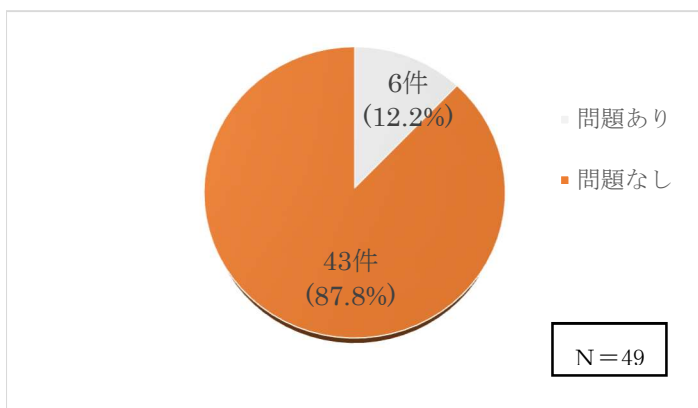
「退院8日前以前」が20件と多かった。



(6) 病院から退院調整の連絡における課題

※(2)で「連絡あり」を選択した49件についての回答。

- ・病院から連絡はあったが、退院調整に問題があったケースは6件であった。

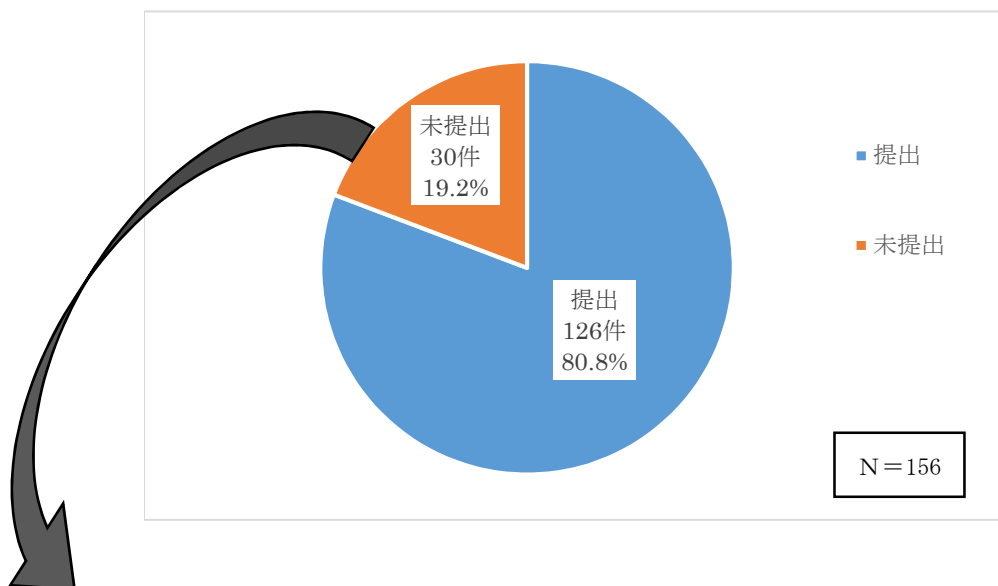


【問題があった理由】（複数回答あり）

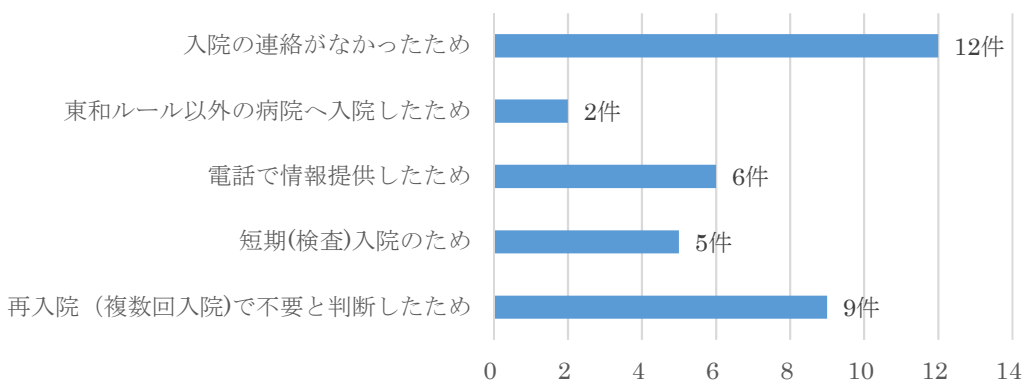
- ・調整できる時間がない(2件)
- ・看護サマリー等の患者に関する情報提供がない(1件)
- ・必要な情報が不足していた(1件)
- ・病院と本人・家族の意見の相違(1件)
- ・その他(2件) 当初の話と違う形で退院他

(7) ケアマネジャーから病院へ入院時情報提供書を送った割合

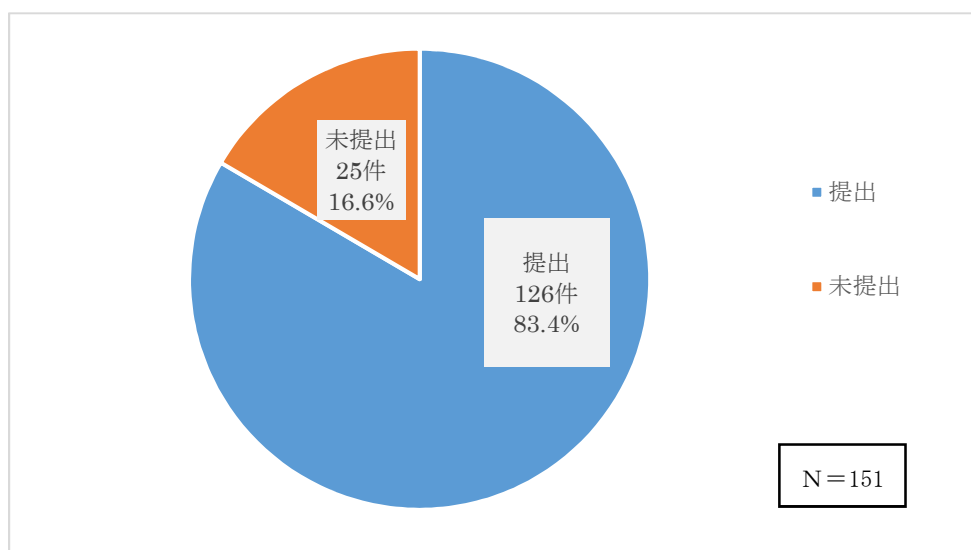
- ・入院時情報提供書の「提出」が80.8%であった。



入院時情報提供書を提出しなかった理由（複数回答あり）



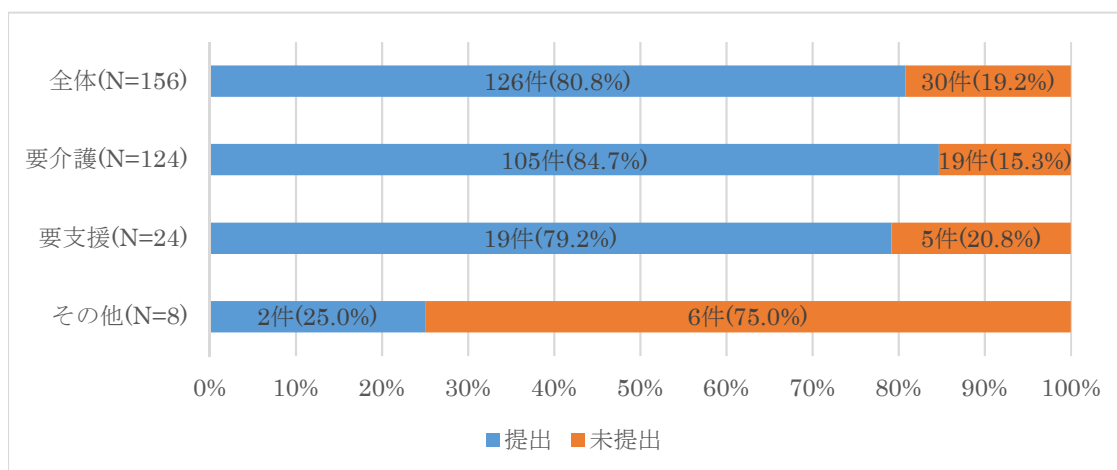
- ・今回、入院時情報提供書を提出しなかった理由について、ルール上、短期（検査）入院により、「提出不要」となるケースが5件あった。



- ・提出不要（5件）を対象から除くと、提出率は83.4%である。

(8) ケアマネジャーから病院へ入院時情報提供書を送った割合（介護度別比較）

- ・東和医療圏のケアマネジャーが病院に対し、入院時情報提供書を送った割合は80.8%であった。
- ・要介護の入院時情報提供書の「提出」は84.7%であった。

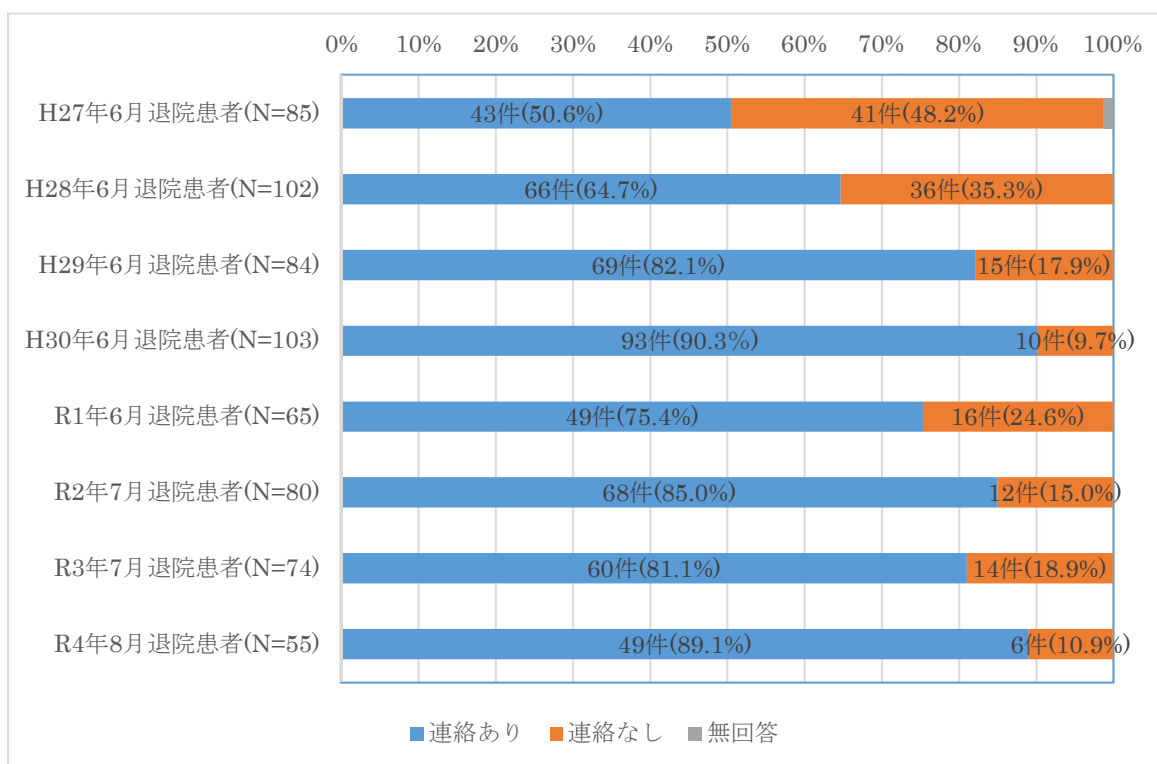


「退院調整状況調査」（ルール運用7年目）まとめ

- 東和医療圏の退院調整率
全 体：**89.1%**（要介護：91.9%、要支援：93.3%、その他：33.3%）
 - 東和医療圏のケアマネジャーが病院に対し、入院時情報提供書を送った割合
全 体：**80.8%**（要介護：84.7%、要支援：79.2%、その他：25.0%）
- ※退院調整が必要なケース（除外ルール除く）に対しての入院時情報提供率 **83.4%**

〈参考〉 退院調整状況調査比較

1. 退院調整の連絡状況（7市町村のうち6病院から退院したケース）



2. ケアマネジャーから病院へ入院時情報提供書を送った割合

